

CASBEE[®]-戸建(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建(新築) 2014年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH_NC_2014v1.0

1-1 建物概要

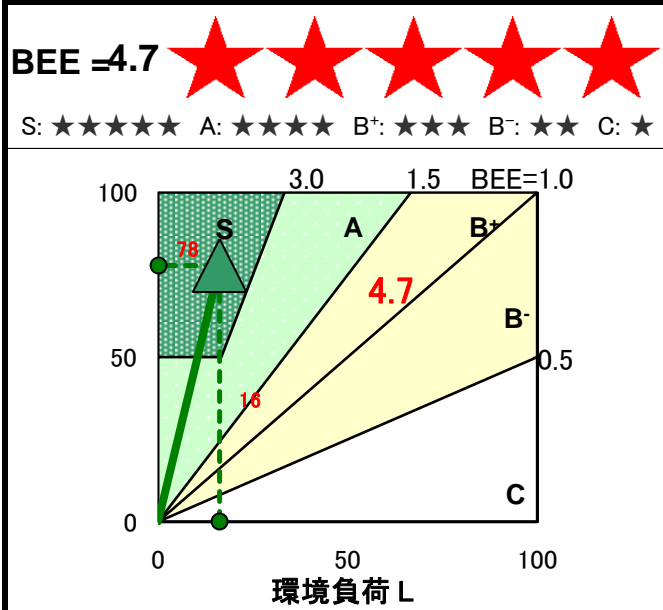
建物名称	パワーホームモデル東温・志津川No.2	仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	一部確定 一部確定 仮
竣工年月	2014年11月	予定		
建設地	愛媛県東温市	確定		
用途地域	第2種中高層住居専用地域	確定		
省エネルギー地域区分	6地域	確定		
構造・構法	木造軸組工法	確定		
階数	2階	確定		
敷地面積	183 m ²	確定	評価の実施日	2014年10月5日
建築面積	66 m ²	確定	作成者	高梨敦夫
延床面積	113 m ²	確定	確認日	2014年10月5日
世帯人数	4	仮	確認者	高梨敦夫

仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	一部確定 一部確定 仮
<備考>		
評価の実施日	2014年10月5日	
作成者	高梨敦夫	
確認日	2014年10月5日	
確認者	高梨敦夫	

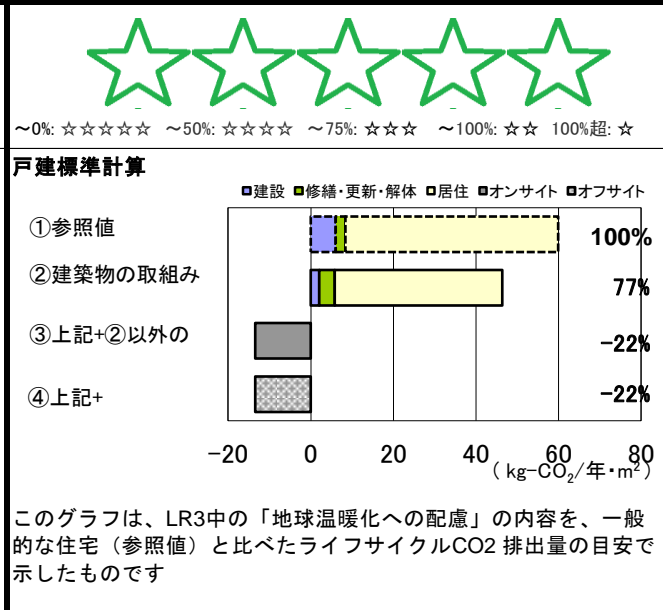
1-2 外観



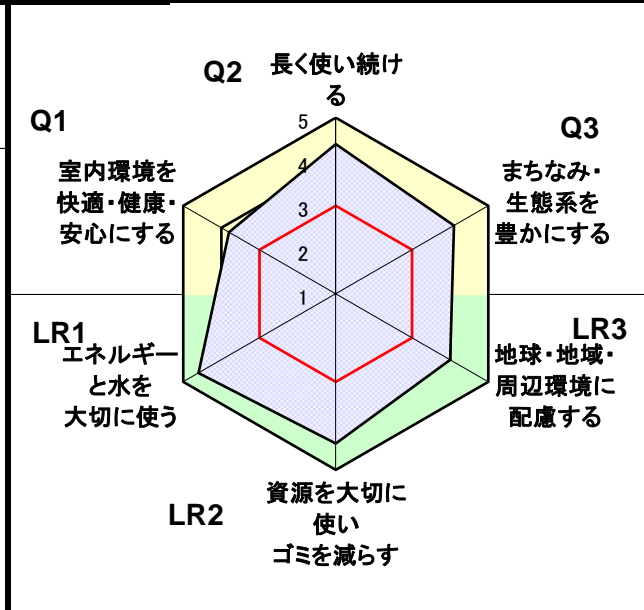
2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)



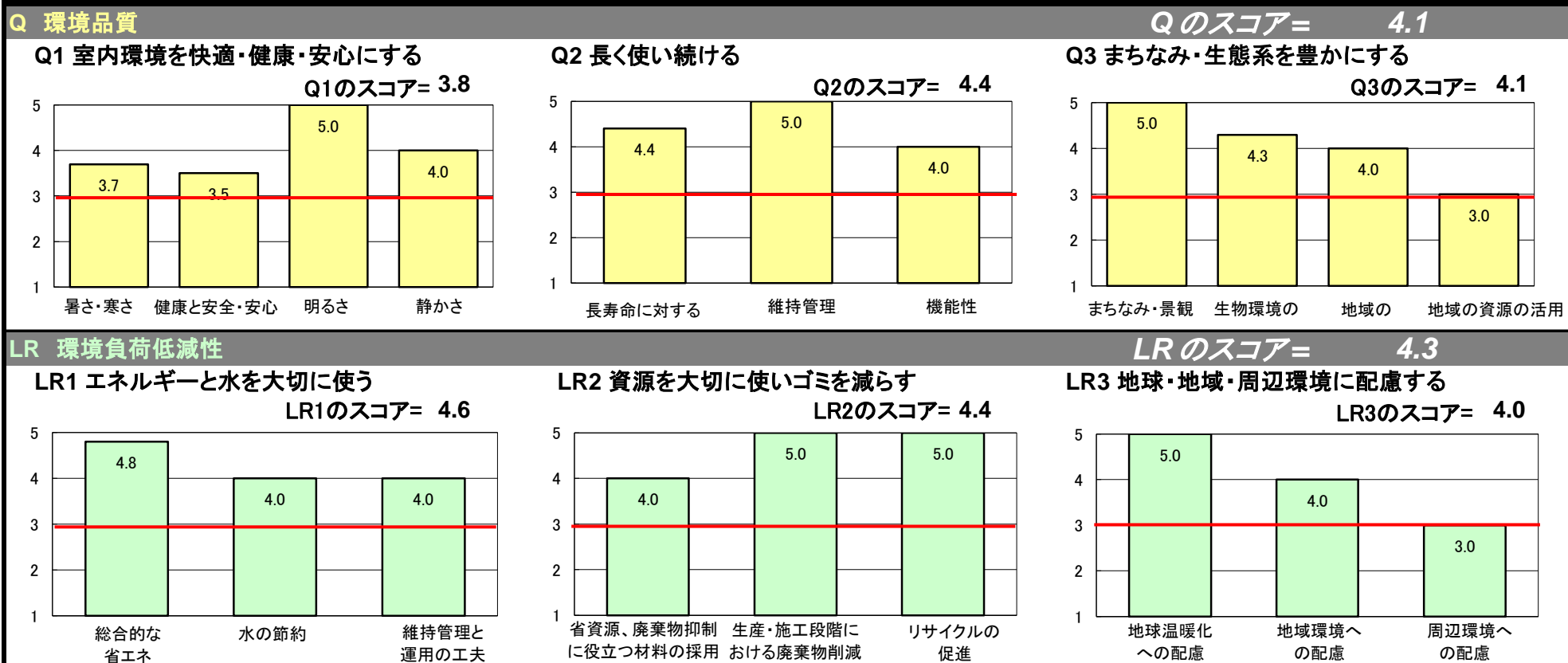
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>耐震等級は最高等級3、省エネルギー対策等級は地域区分Ⅱ地域で最高等級の4を満たしています。また、太陽光発電システムやエコキュートなどを採用してライフサイクルCO₂排出量の0%以下を確保し、環境性能を高めています。すまいの環境効率をSランク、ライフサイクルCO₂を☆☆☆☆☆といずれも最高等級を取得しています。また、低炭素住宅や長期優良住宅の認定を取得し将来に渡り、安心して頂ける家としています。</p>	<p>その他</p> <p>木造住宅はCO₂固定化に貢献する環境に良い住宅です。地域環境に配慮した、長く快適に住み続けられる高い建物性能と、再生可能エネルギーの活用により、ライフサイクルCO₂の☆☆☆☆☆を取得しています。</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>主要な居室について2方向に開口もしくは風の通り道を設けることで、風通しに配慮した快適な室内環境をつくり出しています。また、アルミ樹脂複合サッシを採用し、遮音性能に優れた静かな住環境にすることで快適な住まいを実現します。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>維持管理対策等級、劣化対策等級で最高等級を取得。外装材は、交換する際に下地を破損しない取り付け方法を採用しています。また、住宅履歴情報登録機関を活用した履歴や維持管理のサポートを行います。</p>
<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>住宅の配置、階高、外観に配慮して、近隣の住宅や街区の景観との調和を図っています。また、見通しの良いオープン外構とし、防犯性も高めているほか、緑化面積を確保することで生物環境を創出しています。</p>	<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>建物の熱負荷を抑制するために、サッシはアルミ樹脂複合サッシを使用。太陽光発電による創エネを行うとともにエネルギー効率の高い住宅設備機器を使用します。また、節水器具を採用して節水します。住まい方ガイドにより住まい手の意識向上を誘導します。</p>
<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>外装・内装材では省資源・廃棄物を抑制する材料を採用し、外構にはリサイクル材を使用しています。生産段階では邸別工場生産となるプレカット木造軸組工法を採用。住宅履歴情報登録機関を活用して住宅履歴システムを採用し、住まい手に使用材料の情報提供を行うことで、リサイクル促進につなげます。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> <p>自生植物の育成に配慮した緑化を行います。なお、雨水の排水処理にかかる負荷を抑制するために、外構面積の過半について浸透可能な植栽地・真砂土敷として、環境への配慮を行っています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (環境品質), L: Load (環境負荷), LR: Load Reduction (環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)

■CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE_H、Q_H、LR_Hなどとすべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した

■「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q_H2、LR_H1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)

■ライフサイクルCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「CO₂計算」シートを参照されたい